

花 ぬ え

こおらすこんさあと in Tokyo

みずき (兵庫)

つく (東京)

うなそ (山口)

兵庫・東京・山口で活躍する3つの合唱団が、遂に集結！
東京国際合唱コンクール出場団体による奇跡のジョイントコンサートが幕を開ける！

合同ステージ

追分節考

作曲：柴田 南雄

逝く夏の歌

作詞：中原 中也 / 作曲：信長 貴富

人生が1時間だとしたら

作詞：高階 紀一 / 作曲：横山 潤子

その他、各団体単独ステージ

2025

5/3 (土) 16:00開演 (15:30開場)

小金井 宮地楽器ホール 大ホール
(東京都小金井市本町6丁目14-45)

主催：花ぬそプロジェクト実行委員会 hana.nu.so2025@gmail.com

全席自由

一般 2,000円 / 大学(院)生・専門学生 1,000円

高校生以下無料

(未就学児の方はご入場いただけません)

teketにて販売中
お申し込みはこちらから



さあさあお立ち会い！ 播磨の『花みずき』、江戸の『ぬっく』、長州は『そうなそ』
 広島で開かれたコーラスサミットにて巡り合いし三団体
 偶然の意気投合、ひょんなことから追分節の舞台を共に築くこととなり候
 衣装も心もひとつに重なり、東西の歌声が織りなす新たなる調べ、今宵皆様にお届けいたす
 チャンスオペレーションの妙技、この音色、どうぞお耳にお確かめあれ！



公式SNS

混声合唱団「花みずき」 (兵庫県)

尼崎市立立花中学校合唱部の卒業生により2006年に結成。現在は兵庫県だけでなく全国からメンバーが集い、酒井輝美の音楽観のもと、日々「花みずき」らしい音楽表現を追求している。第4回、6回東京国際合唱コンクール室内部門にて1位金賞を受賞し、グランプリコンクールに出場。同年、作曲家Javier Busto氏、作曲家Ambrož Čopi氏によるレッスンを受ける。そのほか関西合唱コンクール、兵庫県ヴォーカルアンサンブルコンテスト等で金賞を多数受賞。また、ジョイントコンサートや成人式での演奏依頼、チャリティコンサート等、活動の幅を広げており、2024年2月には、4回目となる単独演奏会で松下耕氏を客演指揮に迎えた。



公式HP・SNS

合唱団 ぬっく (東京都)

「ぬっくりぬくぬく」と歌うことをモットーとして、2013年6月に首都圏の大学生を中心に創出した混声合唱団。「ぬっく」という名前は「心地よい隠れ家」という意味をもつ。母体が無い寄せ集めの合唱団であることの良さを活かし、個性豊かで愉快的仲間と古今東西様々な曲を歌いながら、にぎやかに活動中。年1回の自主演奏会を活動の中心に置き、コンクールや合唱祭への参加、学校への訪問演奏など幅広くステージを楽しんでいる。また、作曲家への委嘱活動や演奏家、合唱団とのコラボレーションを積極的に試み、「ぬっく ならでは」の合唱活動を展開中。



公式HP・SNS

合唱団そうなそ (山口県)

「山口県の合唱シーンに新しい風を！」をモットーに掲げ、2015年4月創団。「そうなそ」とは山口弁で肯定・疑問をあらわす言葉であり、標準語の「そうなの」にあたる。山口市を活動拠点として山口県出身・在住の20-30代のメンバーを中心に約40名で活動中。無伴奏混声合唱作品を主なレパートリーとしているが、特定のジャンルにこだわらず、古今東西の様々な楽曲に挑戦している。全日本合唱コンクール山口県大会大学職場一般部門混声合唱の部8大会連続金賞受賞、うち3回山口県知事賞(コンクール大賞)受賞。第63回中国合唱コンクール同部門銀賞受賞。第5回東京国際合唱コンクール室内合唱部門1位金賞受賞、グランプリコンクール選出。第6回同大会同部門2位金賞およびビッグウェーブ賞(最も将来性があると認められた団体への特別賞)受賞。



津上 弘道(つがみ こうどう) <尺八奏者>

1991年京都府生まれ、東京都育ち。東京大学に入学後、尺八と出会う。同大学尺八部にて松山龍盟師に琴古流尺八の手ほどきを受け、在学中より徳丸十盟師に師事、尺八演奏家を志す。東京大学卒業後、東京藝術大学音楽学部に進学。在学中「安宅賞」「アカンサス音楽賞」「同声会賞」を受賞。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。古典を中心とした演奏活動、年間50件以上のワークショップ主催、尺八教授など、多角的な音楽活動を行なっている。日本三曲協会、琴古流雅道会 各会員。よみうりカルチャー 講師(八王子校)。臨済宗 三光院 寺子屋塾 講師。平塚八幡宮 伝統文化教室 講師。